

平成 27 年 8 月 定例教育委員会 議事録

日 時 平成 27 年 8 月 26 日 (水) 開会 16 時 30 分
閉会 17 時 54 分

場 所 教育委員会室

出席者 教育委員 福島 知克 教育委員長
小野 和枝 教育委員 (委員長職務代理者)
明石 光伸 教育委員
高橋 護 教育委員
寺岡 悌二 教育長
議事録署名委員 明石 光伸 教育委員

教育庁 湊 博秋 教育参事
重岡 秀徳 教育次長兼教育総務課長
篠田 誠 学校教育課長
永野 康洋 生涯学習課長
溝部 敏郎 スポーツ健康課長
大鳥 悦子 学校教育課参事
猪俣 正七郎 学校教育課参事兼総合教育センター所長
三木 武夫 別府商業高等学校事務長
平岡 美佐子 人権同和教育啓発課参事兼学校教育課参事
三宅 達也 教育総務課課長補佐兼教育企画係長
志賀 貴代美 教育総務課主幹兼指導主事
大嶋 健司 教育総務課主任

傍聴人 1名

議事日程 第1 議事録署名委員の指名について
第2 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する
結果報告書について【議第 52 号】 **※継続審議**
第3 平成 27 年度一般会計補正予算案 (第 3 号) について【議第 55 号】
第4 議決事項の取り消しについて【議第 56 号】 **※非公開**

報告事項 (1) 寄付受納について【報告第 14 号】
(2) 平成 27 年度別府市功労表彰・特別功労表彰候補者について
【報告第 15 号】

その他 (1) 平成 27 年度秋季幼稚園・小学校運動会、中学校体育大会訪問日程に
ついて
(2) 全国学力調査の結果について
(3) 9 月定例教育委員会の開催日程について

議 事 録

◎ 開 会

福島委員長 では、平成 27 年 8 月の定例教育委員会を開催いたします。

◎ 議事録署名委員の指名について

福島委員長 議事日程第 1、議事録署名委員の指名について、今回は明石光伸委員にお願いします。

◎ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する結果報告書について

福島委員長 議事日程第 2、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する結果報告書（議第 52 号）については、前回からの継続審議です。宿題となっております、資料を読んでいただいたと思います。何か加筆するところ、削除するところ、訂正するところがありましたら、お願いします。

高橋委員 まとめのところで、知見活用委員の皆様から所見が挙げられて、教育委員会としてそれを課題と受け止めてこうやって進んでいきたいという意志は随分通じる文章かなと思います。ただ、一番最後の「難局に」というところが気になるんですね。「難局」という言葉を使うべきかどうか、もちろん課題も多いのは事実ですけれども、もう少し言葉を変えた方がいいのではないかなという思いで拝見いたしました。

福島委員長 いかがでしょうか。もう少しやわらかい言葉がよいかもかもしれませんね。

高橋委員 「難局」というと、気持ちとして不安を煽るような感じがするんですね。不安を煽るよりも、教育委員会として邁進していくという力強い言葉の方がよろしいのではないかなという思いで受け取りました。

福島委員長 そうですね。「行動を起こすことを誓い、（難局に）立ち向かっていきます。」というよりも、「（行動を起こすことを）誓い、邁進していきます。」という方がいいですね。ここは、訂正しましょう。

明石委員 前回指摘してから、変わった部分はありますか。

高橋委員 中身の方ですかね。

福島委員長 各担当でチェックを受けた部分があったと思いますが。

教育次長 前回指摘を受けた部分については、報告書の内容を修正するところがなかったと受け取りましたので、今回そのままご意見をうかがっております。

学校教育課長 いじめについては質問を受けまして、定義やアンケートについて回答いたしました。中身について修正が必要とは捉えておりませんでした。

福島委員長 統計の取り方について質問をして、こういう捉え方だったということで納得したわけですね。

高橋委員 それと自己評価のところ、かなり成果は出ているけれどもBだったということについても指摘があったと思います。あとは、いじめの解消についてどういう判断があったかについても指摘がありました。

寺岡教育長 各学校で解決したと判断して、いじめが解消したということでした。

福島委員長 他に何かありますか。なければ、まとめの最後の方を邁進していくという表現に変えて、あとは原案どおりで、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する結果報告書について議決いたしますが、よろしいでしょうか。

※全会一致で議決

福島委員長 議第52号は議決いたしました。

◎ 平成27年度一般会計補正予算案（第3号）について

福島委員長 議事日程第3、平成27年度一般会計補正予算案（第3号）（議第55号）についてお願いします。

生涯学習課長 議第55号は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により議決を求めるものでございます。

まず、公民館費の補正額2,301千円でございます。現在、別府市中央公民館の復元工事を行っておりますが、ちょうど正面、つまり北側に市の指定保護樹でありましたホルトノキがございます。これにつきましては、木の腐食、それから空洞化が進行していて非常に危険であることと、今回の復元工事にあたって出入口の妨げとなる要素が非常に大きいということで、本年2月1日に市指定保護樹の解除を行ったところでございます。これを受けまして、今回ホルトノキを伐採するための経費を計上させていただいております。内容につきましては、樹木伐採委託料が200千円、それから伐採後の石垣の撤去及び整地の費用2,101千円で、合計2,301千円を計上させていただいております。次に、少年自然の家「おじか」の経費でございます。少年自然の家「おじか」の水の供給につきましては、グラウンド横の貯水池から、宿泊棟の上にごさいます配水池へ、揚水ポンプで水を汲み上げております。揚水ポンプは2基ございまして、本来相互運転いたし

ますが、現在1基が機能を停止しております。100名を超えるような多くの児童生徒が入所した場合は、両方のポンプを稼働する必要がございます。そのため、先日も水道局に依頼して水を賄っている状況です。ポンプについては、建築住宅課より、次に故障した場合は取換工事が必要だと指摘を受けておりましたので、今回その補正予算の要求をするものでございます。内容につきましては、取換工事の工事請負費2,288千円を計上させていただいております。次に、文化施設費でございます。これについては、消防署の上でございます別府市コミュニティーセンターで、本年4月に指定管理者よりお湯が出ないという連絡を受けまして、漏水調査を実施した結果、給湯管が破損しておりました。4月に5日間休館いたしまして、給湯管のみ応急措置をいたしました。その後再開しましたが、給水設備の取換と、ボイラー設備については開館後メンテナンスをしていなかったということもございますので、今回交換も併せて工事を行うものでございます。内容につきましては、現在のボイラー一式の取換、及び給湯管を仮のものから正式なものに交換する工事請負費合計8,191千円を計上させていただいております。以上でございます。

福島委員長 委員の皆様、質問なりご意見なりありましたらお願いします。

明石委員 コミュニティーセンターはメンテナンスされていなかったということですが、前に白蟻が発生した時もメンテナンスしていないのが原因で、反省としてメンテナンスしていればここまでならなかったと話を聞いたので、そのままでよいのかと思っております。

福島委員長 3年くらい前でしたね。

生涯学習課長 施設につきまして、過去の経緯を見ると、あまり手を入れていない所も実際にごさいました。ただ、10年20年経つ中で何らかの形でチェックをしていかななくてはならないと実際に考えております。現在指定管理者が入っており、本格的にすると営業ができなくなることもございますので、2回目の反省となりますけれども、調整しながら施設のチェックを入れさせていただきたいと考えております。以上でございます。

福島委員長 よろしくをお願いします。

明石委員 指定管理者に任せたから建物のメンテナンスは全く関与しないというのもおかしい話で、運営だけを任せるとはですかね。やっぱり、建物自体も毎日いる指定管理者に見てもらわないと。

生涯学習課長 その点についてですが、指定管理者との契約の中で、費用の分担をしております。通常の管理は指定管理者ですが、大きな工事等を行う場合は、概ね市が負担することになっております。

福島委員長 費用はですね。だけど、費用が発生する前のことを言っているわけですよ。故障したら当然市がやらないといけないですけど、指摘してもらわないと悪いですよ。白蟻が入っているとか、ポンプが壊れたから何とかしてく

れとか、そういう指摘がないということは、指定管理者としての責務がなされていないのではないですかね。

生涯学習課長 今回の場合は指定管理者が2年目ということで、一時的に水道料が上がっており、指定管理者の方でも原因がわからなくて様子を見ていたというところもございまして、その結果、生涯学習課に報告が遅れたのではないかと考えております。

福島委員長 課長から指示をして、挙がってもらうようにしないと。毎日見ている人でないとわからない所もあるでしょうから、故障しそうな所は、日々報告してもらうよう、指示した方がいいんじゃないですかね。

寺岡教育長 別府市コミュニティーセンターは、現在生涯学習課の所管ですが、ホールと温泉に加えて相撲練習場もありまして、非常に用途が複雑なところもあって、修理も定期的にやらないといけない状態です。

明石委員 相撲練習場も教育委員会の管轄なんですか。

寺岡教育長 はい、生涯学習課の所管です。

明石委員 指定管理者も、やっぱり自分達も使っているから、日々の点検を早目にしてもらって、こんなに壊れるまで（報告しないのは）どうかなという気もします。

福島委員長 他にありませんか。

高橋委員 1点だけ、要望も含みますが、少年自然の家「おじか」についてです。今回は水の供給のために両方使えるようにするということですが、少年自然の家というのは非常に大事な施設だと思います。できれば、今後は建て替えということも考えていかないといけないのではないかと思います。特に、ロビーの壁には筋が入っているところもありましたし、あるいは男女のプライバシーを考えた宿泊所や風呂についても頭に入れておくべき時期に来ているのではないかなと思います。教育委員会としても大事な施設と認めますので、そのあたりをお含みおきいただきたいと思います。

教育参事 少年自然の家「おじか」につきましては、現在耐震工事等も行われていないような状況の中で、市の方針として施設をどういう方向性でいくのかということについて、市長と協議を進めていかないといけない部分も多々あると考えております。教育委員会としては、非常に大事で必要な施設ということをして市長に申出しないといけないという認識はございますけれども、建て替えなのか一部改修なのか等については、市長部局と十分に協議をしていかなければいけない一つの課題であると認識しております。以上でございます。

福島委員長 よろしくお願ひします、と言うしかないですけども、使っていくかどうかという議論は絶対1回はしないといけないですね。

明石委員 教育委員会できちんとして、そして市長にこういう意見だというのが先じゃないですかね。市長の意見を先に聞いて、それから教育委員会でのうのはどうでしょうかね。

教育参事 公共施設マネジメントの関係で、専門家といたしますか、市長部局の建設部で見て、どういう状況かという報告がされていると思いますので、明石委員がおっしゃったように、教育委員会としてというところは主張しているかと考えております。

福島委員長 よろしいですか。では、他に質問もないようですので、議事日程第3について議決してもよろしいでしょうか。

※全会一致で議決

福島委員長 議第55号は原案どおり議決いたしました。

福島委員長 次の議事日程第4につきましては、前回非公開とした議事に関連しますので、別府市教育委員会会議規則第6条第1項の規定により非公開とし、最後にお諮りしたいと思いますが、いかがでしょうか。

全委員 異議なし。

福島委員長 では、議事日程第4については非公開といたし、最後に審議します。

◎ 報告事項（1）

福島委員長 次は、報告事項（1）について、お願いします。

教育次長 報告第14号 寄附受納について、報告いたします。
それでは、6ページをお願いいたします。まず、朝日中学校の卒業生の保護者代表より卒業記念品としてフレーム TENT、別府ライオンズクラブ様、別府中央ライオンズクラブ様、別府いでゆライオンズクラブ様より、高等学校奨学生への寄付金としてそれぞれ36,000円ずつ、それから、別府市美術館の充実及び市民芸術文化振興のために、個人の方3名より、それぞれ油彩画2点、絵画2点、油彩画3点の寄附をいただいております。以上でございます。

福島委員長 何かありましたら、お願いします。
報告事項（1）はよろしいでしょうか。

※全委員了承

◎ 報告事項（２）

福島委員長 次は、報告事項（２）平成 27 年度別府市功労表彰・特別功労表彰候補者についてお願いします。

教育次長 報告第 15 号 平成 27 年度別府市功労表彰・特別功労表彰候補者について、報告いたします。

それでは、15 ページをお願いいたします。平成 27 年度の文化の日の功労表彰・特別功労表彰の候補者ということで、功労表彰候補者は 4 名、特別功労表彰候補者については 2 名挙げさせていただいております。それぞれの候補者につきましては、担当課の方からご説明いたします。

生涯学習課長 説明させていただきます。功労表彰候補者の一番上で、大力瞳氏ですが、この方はボーイスカウト別府第 9 団において、26 年の長きにわたり活動を続け、組織の発展や青年の健全育成に尽力されたということで、今回推薦させていただきました。2 番目に、宮森智久氏ですが、この方は別府市内で日本画の普及を進め、日本画展を毎年開催しているということで挙がっております。この方につきましては自己推薦のような形になっております。この方が代表を務める日本画教室の代表者が、この方を推薦するという形になっております。それから、年数が 12 年となっておりますが、日本画教室と日本画協会は設立から 5 年余りでありますので、疑義が生じます。最終的には市の秘書広報課に提出されて、市の選考委員会で決定されますので、一応このまま提出したいと考えております。以上でございます。

スポーツ健康課長 続きます、板井法子氏についてです。この方は、第 30 回全国選抜ゲートボール大会のシニアレディスクラスで優勝したチームの一員でありまして、別府市ゲートボール協会会長からの推薦でございます。次に、森山康夫氏です。この方は、長きにわたって卓球をされていますが、青山卓球クラブにおいて後進の指導、特にボランティア活動も含めたスポーツの振興に貢献されたということで、会長から推薦をいただいております。以上でございます。

福島委員長 では、次の特別功労表彰候補者についてお願いします。

生涯学習課長 説明させていただきます。加藤昌弘氏でございます。別府市美術協会の会長として別府市の芸術・文化に寄与され、昨年度の市制 90 周年記念事業において別府市美術展は多大な貢献となったということでございます。また、中国の上海市と書道交流を推進し、友好書道展等の開催は両市の交流の架け橋となっております。別府市美術協会会長として 10 年、その前に副会長として 8 年務められており、別府市美術協会から推薦を受けております。以上でございます。

学校教育課長 最後に、矢田公裕氏でございます。平成 19 年度以降、別府市教育支援委員会、旧障がい児適正就学指導委員会において、別府市医師会の推薦によ

り委員を務められ、障がいのある学齢児童生徒の教育の機会均等確保について意見をいただき、個に応じた教育環境の提供や学校におけるより適切な支援が可能となっております。また、平成 21 年度からは別府市特別支援連携協議会においても委員を務められ、障がいのある幼児児童生徒に対する教育支援体制の整備について意見をいただき、市内関係機関・各課・学校との連携が図られております。年数は 9 年ですが、特別功労表彰候補者は満 55 歳以上という基準がございますので、今回挙げさせていただきました。以上でございます。

福島委員長 では、何かご質問がありましたら、お願いします。

小野委員 年数というのがバラバラなんですけど、規定みたいなものがあるのですか。

学校教育課長 功労表彰候補者については 10 年以上という基準があります。特別功労候補者については年数がございませんけれども、満 55 歳以上という基準がございます。

福島委員長 他に何かご質問がありましたら、お願いします。

明石委員 功労表彰と特別功労表彰の差は、どう違うんですかね。

生涯学習課長 差について、基準では漠然とした言い方ですが、功労表彰の中でも特に顕著なものを特別功労表彰とすると規定されております。

明石委員 いつも言うんですけど、30 年も待たせている人がいる一方で、12 年の人もいたり、あまりにもバランスが偏っていないかと思うんですが。

福島委員長 候補者は、教育委員会が推薦したんですか。

スポーツ健康課長 いえ、いつも各協会に推薦する候補者がいないかという文書を出しております。それで、挙がってきた候補者をこちらから推薦いたしております。

福島委員長 少しは関与しているんですね。

スポーツ健康課長 そうです。

福島委員長 そして、最終的に選考委員会で決定していくと。そこで、挙がってきた候補者を全部持って行っていいのかなという疑問が残りますね。

明石委員 受付のところでやっぱりきちんとしておかないと、ここまで挙がったら難しいですね。

福島委員長 後は、選考委員会に任せるしかないですね。

教育参事 私も教育長も、選考委員の 1 人でございます。基本的に何回も全部読んだ上で、落とす分もございます。それから年数については、その当時の（各

協会等) 会長の意見もございまして、挙がらなかったこともあれば、会長が変わった途端に挙がったというケースもございます。宮森氏については、戦没者遺族会の会長でもございますので、どこかでそういう話が出てきたのではないかと思います。秘書広報課に出してから、部長クラスや市長の出席する行政経営会議で検討することになろうかと思います。

福島委員長 報告事項(2)は以上でよろしいでしょうか。

※全委員了承

◎ その他(2)

【概要】 学校教育課長より、平成27年全国学力調査の結果と別府市内の小中学校の成績結果の概要、及び平成24年からの成績の推移について説明した。また、平成27年7月定例教育委員会において話の出た得点の分布について、全国及び大分県全体と比較する形で報告した。

福島委員長 皆さん、ご質問がありましたらお願いします。

明石委員 分布ですが、別府市の場合は正答率が低かった難しい問題はよく答えられていて、易しい問題ができていないということですか。

学校教育課長 いえ、グラフの横軸は全問題に対する正答率であります。例えば100点満点中10、20パーセントしか正解しなかった児童生徒数の割合は別府市の方が高く、70パーセント以上できた児童生徒数の割合は別府市の方が低いということでございます。

明石委員 そういう意味だったんですね。前回の定例教育委員会で聞いた時に、正答率の度数分布が正規分布になっていないということだったんですが、グラフで見るとそんなことはないみたいですけど。なるべく低い方の山を高い方にシフトし、出来るだけ正規分布に近付けるような教育をする方がいいのかなと思っていたんですけどね。

寺岡教育長 前回フタコブラクダのような分布になっているということでしたが、実際そうになっている学校はありますか。

学校教育課長 下位層の子どもの数が多いということはお分かりいただけるかと思いますが、ここが1つの山になっております。上位層についても、あまり大きくないですけども1つの山になっております。普通は下位層に山が出来ないですけども、現状では2つの山が出来ております。

寺岡教育長 19ページの表を見ますと、▲はマイナスですが、小学校6年生は平成24年度に比べると今年度は▲が少なくなっています。中学校3年生も、平成24年度に比べると今年度は▲が若干少なくなっていて、数値も全国平均に近づ

いているのは先ほど学校教育課長が説明したとおりです。総合的には改善していると見られるのですが、下位層に対してはもう少し補充学習やわかりやすい授業に改善することによって、マイナスが多い学校に学校教育課でいろいろ対応しているものの、学級が機能していない学校はやはり点数も下がってきています。やっぱり、静かで落ち着いてわかりやすい授業を行っているところは徐々に上がっています。全体的に、小学校は全てクリアしています。中学校は今から早急に力を入れて分析して対応を練る必要があります。中学校の場合は教科担任がいて、授業を見ても各教科の先生は個性があると言えばありますが、バラバラに授業をやっております、もう少し子どもたちの立場に立った、課題をしっかりと位置づけて整理するような授業が出来れば、かなり解決に近づくのではないかと課長等で分析・対応しております。

福島委員長 分布図を作っていますよね。そうすると、AとBとCという子をシミュレートして、その子を一生懸命に教えて（点数を）上げれば、平均点も上がるという結果がすぐに出やすいのではないですかね。D、Eという子にも同じことをするか、しなくてもいいかというシミュレーションをすれば、30人、あるいは40人全員に対して一斉にやるよりも、そちらの方がやりやすいのではないですかね。

学校教育課長 各学校では既に把握して、そういう対応をしております。ただ、実際にやってもなかなか定着していないのも事実であります。

福島委員長 別府市全体の学力を上げようと思ったら、100点の人に一生懸命教えるよりも下位の人を一生懸命教えれば上がりますからね。そういうシミュレーションを個人ごとにやらないと、なかなか結果は出ないですよ。分布が出来るということはシミュレーションも出来るということですから、いいシミュレーションをしながらそういう指導をしていきませんか。

学校教育課長 なかなか焦点が絞りきれないという面もあります。どうしても、先生方はより多くの子どもをとというふうに捉えてしまいますので。

福島委員長 統計的には、下位の人を一生懸命に教えて上がるなら、そうした方が得なんですよ。

明石委員 頭がいい子は自分で出来るから、それが出来ない子を一生懸命教えた方がいいですね。

高橋委員 教育長におうかがいしたいんですけども、先ほどお話しいただいたところで、平成24年度から平成27年度にかけて▲が減ってきたということで、別府市教育委員会の取組みとしてどう評価しているのかについてお願いします。私は、種をまいた成果が花開いてきたかなと思うのですが。

寺岡教育長 この数年間学校の姿を見ていますと、まず中学校は大分落ち着いてきたかなと思います。ですから、問題行動もぐっと減りました。小学校については、大部分の学級の授業が課題を位置づけて、その課題に対してまず自分

で考えて、それから友達と学びあい関わりあって、最後に先生が整理してまとめるという授業展開が、どのクラスもやろうという1つの方向にあります。授業も落ち着いてきていますので、小学校はその成果が出てきたのかなと思います。中学校は、まだ授業が独りよがりのような先生が多くて、何が課題なのか、あるいは一方的に話して、机に伏す子がいてもそれに対応しないなど、教職員の意識がもう一つなっていないので、中学校についても今から早急に取り組んで、連携をもっと深めて共通理解を持っていただき、本気で子どもたちについて地域のいろいろな方に説明できるように持っていければ、かなり期待はできるのかなと思っています。

高橋委員 今日の大分合同新聞に、1時間完結・問題解決型授業という話が出ていました。それをずっと進めてきて、その成果が出てきているところがあると思います。教育委員会の取組みとしては間違っていないと。

寺岡教育長 そうですね。

高橋委員 更に委員長からお話しいただいたように、正答率30パーセント未満の子どもたちをどう育てて向上させていくか、そのあたりが課題ですね。

寺岡教育長 (小中学校) 一貫教育はまだ別府市はやっていませんけれども、今は小中学校連携で設定してやっています。けれども、小学校で基礎が出来ていないと中学校ではやっていけないですし、中学校の先生も小学校の授業を見て、もっと授業を改善することも考えないといけないですね。とにかく講義調で一方的に話す授業は、なかなか子どもたちの意欲を引っ張り出せないで、先生たちももっと子どもたちの立場に立って授業を改善してほしいですね。あと、中学校は特に部活動や生徒指導などで、教材研究する時間や土日の時間の使い方でも多忙感がありますので、支援員として部活動や生徒指導など学校関係者以外の方を入れて、先生たちがもっと授業に打ち込めるような体制になるよう、来年度はかなり予算を多めにと考えています。

明石委員 中学校の授業について、生徒たちの評価としてアンケートとかを取っているんですか。

寺岡教育長 大体は取っています。

明石委員 それなら、先生の人気投票みたいになったら悪いですけど、そういう雑さは出てきますよね。

寺岡教育長 そうですね。一番大事なことは、生徒がわかりやすいかどうかですね。

明石委員 そうしたら、校長とかがあまりに生徒の評価が悪い先生に対して、指導とかをしないとイケないですよ。大学はみんなそうですよ。毎回取られて、例えば内容はいいか、よく理解できたか、資料は適切だったか、シラバスのとおりちゃんと話していたかとか、何項目にもわたって学生の意見を聞いていますね。中学校になると、先生の個人的な差が出て来るでしょう

から、やっぱりそういう先生はどうしても生徒からの評価が落ちるんじゃないかなと思います、わかりやすい内容じゃないと。

寺岡教育長 どうしても子どもたちは先生に対して、意見とかを言う姿勢がないですよ、弱い立場で。先生はどうしても上から見るので、どんな授業であれ、生徒はこうしてほしいとか変えてほしいとか、アンケートくらいしかできないですから、そういうところを先生は誠意を持って、謙虚に授業がどうだったかとか聞くなど、生徒を鏡と思ってやればいいんですけど、一切耳を傾けない先生がいる間は、なかなか難しいですね。あとは塾に任せるとか、家庭環境とか、あるいはドリルとか、とにかく本気で子どもたちのことを考えて授業を改善できればいいんですけど。他の市町村では、例えば夏休みを一週間前倒して学校を開くとか、ステップアップ学習を全員参加する学校とか、あるいは希望者のみ参加する学校とか、夏休みの長さに対応しているところもあると思いますが、どうですかね。

学校教育課長 大分市は、今日から全中学校で午前中ですけれども授業をしていると聞いております。別府市も、夏休み期間中は5日間授業をしていいことになっておりますので、今日授業をした学校もあると聞いております。県内では他にも夏休みを短縮する学校があると聞いております。

福島委員長 クラス編成をする時、2、3クラスに分けると思うんですが、どのようにしているのですか。

寺岡教育長 あらゆる角度から見て振り分けます。

学校教育課長 例えば各クラスで成績が均等になるようにしまして、そこからリーダーになれる子が各クラスにいるかとか、問題行動や不登校の子が偏っていないか、いじめられている子がいじめている子と一緒にのクラスになっていないかとか、いろいろな要素を検討していきます。

寺岡教育長 先生との相性も考えますね。

福島委員長 その要素の中に、明るさというのはないですか。この人がいると明るくなるというのが、どこの社会にもいるんですね。だから、明るいところは成績もいいんですね、勉強でも仕事でも何をやらせても。私は、そっちの方を重点に置いた方が（いいと思います）。

明石委員 それと気になるのが、今大学や専門学校で教えているんですけど、学年によって物凄く差が出てくるんですよ。自分達で勉強会を開く学年もあればおとなしい学年もあって、どういうことから起こるんでしょうか。

高橋委員 保護者の連携がよく取れている学年と、全くそうじゃない学年というのがありますね。

福島委員長 明るい学年は取れていますね。

高橋委員 そうですね。

寺岡教育長 幼稚園から入って小学校1、2年生、つまり低学年に上がる時に、習慣的な考え方や態度とかを大事だからということで丁寧に教えた学年は、3、4年生になってもそれを受け継いでいるので、そこが差になっているのではないかと小学校を見た時に思いましたね。

福島委員長 そうでしょうね。幼稚園は割と明るくて、小学校1、2年生もまだ明るいんですけど、だんだん自我が芽生えてきて。

明石委員 やっぱ、教育や家庭環境も含めた環境因子というものもあるんですかね、明るさ、反応の良さ、記憶力の良さを見ると。

寺岡教育長 人の話をきちんと聞く態度が育っている学年はいいと思います。勝手バラバラだと、いじめが起こったりしています。

福島委員長 今、学校が静かになってきているでしょう。静かな中に明るさが出てくるような指導が、絶対必要ですよ。

明石委員 ムードメーカーがいる学年といない学年で違いますよね。ムードメーカーが2、3人いると盛り上がってきますから。

高橋委員 小学校は全国第14位、中学校は全国第32位と極端すぎますよね。秋田県や福井県のように、中学校になっても1、2位になっている所とどこがどう違うのか、別府市でも分析してみて（検討する必要がありますね）。

明石委員 今日の大分合同新聞に載っていた算数の問題だけ見てみたんですけど、中学校の数学Bは物凄く簡単でしたね。ところが、小学校の算数Bは難しいなと思いました。

寺岡教育長 知識があっても、それを組み合わせたり重ねたり応用したりしないとなかなか解きにくいですね。授業の中である程度慣れないといけないので、ドリルを使う時間が多くなりますね。ですから、学校の方でそういう対策をしないといけなくなりますね。ある程度の慣れと訓練と量が必要です。

明石委員 それはあるかもしれないですね。受験勉強も過去問や解き方は大事ですからね。

寺岡教育長 地域と家庭と学校の三者が全員で一つになって、地域の公民館を活用したり、放課後授業や土曜授業を行うなど、あらゆる力を結集して取り組む体制が出来ているところは結構強いような気がしますね。あとは、塾とかに行っているところも強いでしょうしね。

明石委員 文章になると、弱いですね。

寺岡教育長 図書館の活用や読書量と、成績の相関はあるのでしょうか。一概に言えな

いでしょうけど。

学校教育課長 冊数の目標は立てますが、あまり数値に固執しすぎますと中身を読まずに借りるだけになってしまいますので、冊数が多いから学力が高いとは言い切れません。

寺岡教育長 学校力と家庭教育力と地域力を今から作っていかないといけないですね、小中学校連携も。

高橋委員 ムードメーカーというのは大事ですね。

寺岡教育長 認めあったり存在を大事にしてくれる人がたくさんいれば、自然といい集団になっていきますね。子どもたちが安心して学級で学べたりできますから、小学校からだんだんとそういう集団にもっていけば、素晴らしくなりますね。いじめやからかいとかは、絶対良くないですね。

福島委員長 難しい問題をやらせて解かせた喜びもきちんと指導しておかないと。難しい問題が解けると気が楽になるんですよ。易しい問題ばかり解かせて点を上げるのも一つの手なんですけど、それだけだとよくないですね。一つでも難しい問題を解かせると目覚めるんですよ。だから、いろいろ工夫して、この子に難しい問題を一つ解かせれば後は大丈夫とか、この子はムードメーカーの隣に置くといいとか、この子を重点的に教えると平均点が上がるとか、もう少し一人一人いいところがあったら取り上げて、子どもたちのためにやってあげてください。

寺岡教育長 市長も、別府市ならではの特色がある教育方法や教育改革というのを期待していると思います。

明石委員 何か別府らしさをどこかで出してね。

寺岡教育長 例えば、コンビニに行って朝ご飯を食べながら学校に来る家庭があるという話を聞いた時は、家庭環境というかPTAも一緒になって子どもを守っていくという最低限のことを、きちっと親にもしてもらわないと、先生たちがおにぎりを作って学校に持って行ったことも昔はありましたけれども、そういう子がたくさんいるというのも問題だと思います。

福島委員長 いろいろな問題がありますけれども、一つ一つ前向きに考えていって、最後は子どもたちのためというのが我々のモットーでございますから、よろしくをお願いします。
学力調査の件については、よろしいでしょうか

※全委員了承

以下非公開

※審議の結果、議第 56 号は原案どおり議決された。

◎ 閉会

福島委員長 今日の日程は全て終わりました。これもちまして、平成 27 年 8 月の定例教育委員会を閉会いたします。

- ・発言の内容について、単純ミスと思われる字句、重複した言葉づかい等を整理の上作成しています。